



森林教室を開催しました！

令和6年11月22日（金）に東通小学校の4年生を対象とした森林教室を開催しました。

森林教室は未来を担う子供たちに地域の森林について理解を深め、森林・林業に興味を持ってもらうことを目的に実施しています。

今回は座学と体験会の2部構成で行いました。体験会では「丸太切りコーナー」・「コースター絵付け、栞作りコーナー」・「ゾーリン（カードゲーム）コーナー」に分かれてそれぞれ体験してもらいました。

 座学では「木のおはなし」と題して、主に林業・森林の保水機能・樹種についての説明を行いました。測桿を5m伸ばし子供たちの年齢と同じ10年程育った木の高さをイメージしてもらったり、青森県の木として指定されている「ヒバ」や、東通村の木として指定されている「イチイ」の葉っぱに触ってもらいました。子供たちが飽きずに興味を持ってもらえるように工夫しました。子供たちからは「5mって大きい！」という声や、「葉っぱの形やにおいが全然ちがう！」などの声が聞かれました。

地域の森林について親しみを持って学んでもらうことができました。



東通村の木「イチイ」の説明



ヒバの葉っぱに興味津々！



丸太切りコーナーでは直径 15 cm程の東通村で育った杉丸太をのこぎりで切ってもらいました。力仕事でコツが必要な作業でしたが、子供たちは上手に切っていました。子供たちからは「木が固くて切るのが大変だった。」「まっすぐ切るのが難しかった。」などの声が聞かれました。

刃物を扱うため安全に十分注意しながら、付き添いの先生方にもご協力いただいて無事に怪我なく終えることができました。



渾身の力を込めた丸太切り



コースターの絵付けでは丸太切りコーナーで輪切りしたものにそれぞれ好きな絵を描いてもらいました。お気に入りのキャラクターを描いたり、輪切りの丸い形を活かして野球ボールのデザインにしたりするなど、子どもたちは工夫しながら思い思いのコースター作りに励んでいました。

葉づくりではラミネートフィルムにカエデなどの葉っぱを飾り、自分だけの葉を作成してもらいました。子どもたちからは「カエデの形と色が綺麗で良かった。」「自分だけの葉が作

れて嬉しい。」「家族の分も作ってプレゼントする。」等のたくさんの感想が聞かれました。



センスが光る葉っぱの葉作り



🍃「ZORING」は森林づくりを題材にしたカードゲームです。座学で説明した「地拵え」「植付」

「下刈り」「除伐」「間伐」「主伐」の順番にカードを出していき、事業を最も進められた人が勝ちというルールです。子供たちはゲームの中で被害カードや対策カードを使うなどルールを理解し、林業について知識を深めながら遊んでくれました。後日お昼休みにルールを覚えて子供たちが他の子供たちに教えながら遊んでいるという話を伺い、「ZORING」の楽しさが広まっていて嬉しく思いました。



「ZORING」で森林づくりに挑戦！



手持ちのカードとにらめっこ